

平成 29 年度 1 学期始業式 式辞

平成 29 年 4 月 10 日

おはようございます。いよいよ新年度が始まりました。

今日は、新たなスタートとなる節目の日です。

この始業式は、皆さんが具体的な目標を持って、今日からどのように過ごそうとするのか、そういった決意を明らかにする、あるいは決意を確認するという、大切な儀式です。

皆さんの決意次第によって、今後の学校生活の充実度や進路の実現にも影響を与えると一言でも言い過ぎではないと、私は捉えています。

見方を変えると、気持ちを切り換え、新たにスタートできる絶好のチャンスだとも言えると思います。是非、前向きに捉え、気分も新たにスタートして欲しいと思います。

3 月 16 日 3 学期終業式の式辞の最後で、私が皆さんに、春休みの宿題として、お願いしたことを覚えていますか？

私は、「春休みの間に、どのような気持ちで新年度を迎えるのか、何を目標に、どのような 1 年にしようとするのか、しっかりと考えておいてください。」とお願いしました。

いかがですか？

可能なら、皆さんの決意を聞かせてもらいたいところですが、この場では皆さんに問いかけたいと思います。

今どのような気持ちでこの始業式に臨んでいますか？

新学期からは、「これを頑張るぞ！」とか「これを大切にしていこう！」といったように、各自が具体的な目標を持っているのでしょうか？

そういった皆さん自身の決意と同じものになるかどうかはわかりませんが、新学期を始めるに当たって、私からのメッセージを伝えます。

今年度、皆さんが日々の生活や授業、行事、地域との連携活動やクラブ活動、そして進路実現に向けて、3 つのキーワードを特に大切にしたいと思えます。それらは、いずれもアルファベットの「C」で始まる言葉です。

まず 1 つは、「Challenge」、即ち「挑戦」です。

どんなことでも構いません。昨年度できなかったことが少しでもできるように、昨年度の反省点や弱点の克服にチャレンジしてください。

進路実現に向けても果敢にチャレンジして欲しいと思います。

中でも、皆さんに挑戦して欲しいことは「授業を大切にすること」です。

授業に臨む姿勢、机の上の整理、授業中の態度など、より一層授業に集中し積極的に参加して欲しいと思います。

二つめは「Communication」、即ち「意見交換・意思の疎通」です。

日々の何気ない会話をはじめ、今後、授業や各種行事等での活動の中で、皆さんの思いや意見を伝え合う機会がますます増えてきます。

積極的に、建設的な意見を言えるようにしましょう。

そして、聞き上手にもなってください。

コミュニケーションには、話しやすくなるように声を掛けてあげたり、あいづちを打ったり、話しやすい関係づくりが必要です。

こうした聞き上手になることにも意識して、良好なコミュニケーションに挑戦して欲しいと思います。

三つめは「Collaboration」、即ち「協力・連携して取り組むこと」です。

例えば、授業でのグループ活動や体育祭・文化祭といった行事活動など、皆さんが良好なコミュニケーションを生かし、グループやクラス、チームで協力し合って、大きな達成感や感動を味わってください。

皆さんの活躍に期待しています。

さらに、皆さんの活躍を通じ、皆さんが、本日午後に入學してくる新入生にとって、先輩として、良き模範・モデルであって欲しいと思います。

あわせて、私は、3学年全ての生徒が、安心して学校生活を送ることができるようにしたいと願っています。各自が違いを認め、互いの人格を尊重し合い、相手の立場になって考え行動してください。

我々教職員は「人権が尊重された学校づくり」「いじめの無い学校づくり」の実現に向けて、学校をあげて情報共有と連携を図っていきます。

また、学校をあげて、授業改善や地域との連携、広報活動の充実や大学との連携にも、より一層挑戦していきたいと考えています。

特に大学との連携については、広報ビデオの作成にも取り組んでいきます。今後、授業風景などの撮影にも協力してもらうことになるかもしれません。

その際はよろしくお願いします。

今年度、生徒の皆さんも我々教職員も、学校をあげて、「Challenge」「Communication」「Collaboration」の「三つのC」をキーワードに、よりよい学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。

それでは、皆さんの努力が実を結び、2年生は2年後、3年生は1年後、皆さんの希望する進路が実現していること、そして、この1年が皆さんにとって充実したものとなることを願って、式辞とします。